

2013年3月期 第3四半期 決算カンファレンスコール

(2013年1月31日実施)

取締役 執行役員常務 経理経管本部長 青木昭一 スピーチ

<P.1：2013年3月期9ヵ月通算 決算概要（前年同期比）>

1ページに、当期9ヵ月通算の業績を前年同期と比較して示しております。

当期9ヵ月通算の売上高は、部品事業の増収を主因に、前年同期に比べ4.6%増加の9,265億円となりました。

一方、利益については、米国子会社のAVX Corporationが米国マサチューセッツ州ニューベッドフォード湾の環境汚染浄化にかかる費用として213億円を計上したことに加え、電子部品の価格下落や為替変動の影響もあり、前年同期に比べ減少しました。

なお、資料の下段にありますとおり、当期9ヵ月通算の平均為替レートは、米ドルは前年同期に比べ1円円安の80円、ユーロは9円円高の102円となりました。この為替変動の影響を受け、売上高は約50億円、税引前四半期純利益は約40億円、前年同期に比べ押し下げられました。

続きまして、事業セグメント別の状況についてご説明します。

<P.2：2013年3月期9ヵ月通算 事業セグメント別売上高（前年同期比）>

まず、2ページに記載のセグメント別の売上高ですが、部品事業トータルでは、半導体部品関連事業や電子デバイス関連事業の売上増を主因として、前年同期に比べ10.6%の増収となりました。

ファインセラミック部品関連事業は、半導体製造装置をはじめとした産業機械市場やデジタルコンシューマ機器市場向けの部品需要が前年同期を下回ったことにより、7.2%の減収となりました。

半導体部品関連事業は、スマートフォン及びタブレットPC向けにセラミックパッケージの需要が伸びたことにより、8.2%の増収となりました。

ファインセラミック応用品関連事業は、このセグメントの主力事業であるソーラーエネルギー事業及び機械工具事業の売上が増加したことにより、2.3%の増収となりました。

電子デバイス関連事業は、前期にグループに加わった京セラディスプレイ(株)の寄与により、25.7%の増収となりました。

機器事業は、前年同期に比べ3.1%の減収となりました。通信機器関連事業は、スマートフォンの販売を国内外で伸ばすことができましたが、国内で従来型の携帯電話端末の販売台数が減少したことにより、6.7%の減収となりました。

また、情報機器関連事業は、欧州景気の低迷やユーロ安の影響を受けるなど厳しい事業環境下ではありましたが、新製品の投入や拡販策を進めたことにより、売上は横ばいとなりました。

< P. 3 : 2013年3月期9ヵ月通算 事業セグメント別事業利益（前年同期比） >
続きまして、3ページの事業利益の表をご覧ください。

部品事業は、電子デバイス関連事業の減益を主因に、前年同期に比べ47.6%の減益となりました。

ファインセラミック部品関連事業は、売上高の減少により、33.2%の減益となりました。

一方、半導体部品関連事業は、セラミックパッケージの増収により、2.5%の増益となりました。

また、ファインセラミック応用品関連事業は、ソーラーエネルギー事業の増収効果により収益性の向上を図ることができ、37%の大幅な増益となりました。

電子デバイス関連事業は、AVXの環境汚染浄化費用の計上及び価格下落等の影響により、減益となりました。

次に、機器事業ですが、前年同期に比べ25.6%の減益となりました。

通信機器関連事業の利益は、海外での収益性の改善により、前年同期比2倍となりましたが、情報機器関連事業は、ユーロ安の影響により、30.3%の減益となりました。

お手元の資料の4ページをご覧ください。

<P. 4 : 2013年3月期第3四半期 決算概要 (第2四半期比) >

次に、当期第3四半期3ヵ月間の業績を第2四半期と比較して説明いたします。

第3四半期の売上高は、第2四半期に比べ2.4%の増収となりましたが、営業利益は、販売促進費や減価償却費の増加等により、9.1%の減益となりました。しかし、税引前四半期純利益は、受取配当金の増加により6.9%の増益となり、税引前利益率は10.4%となりました。

資料の5ページをご覧ください。

<P. 5 : 2013年3月期第3四半期 事業セグメント別売上高 (第2四半期比) >

5ページに、第3四半期の事業セグメント別売上高を第2四半期と比較して記載していますが、増減金額の大きい事業セグメントの要因についてご説明します。

ファインセラミック応用品関連事業は、国内及びアジアでのソーラーエネルギー事業の売上が大きく伸びたことにより、第2四半期に比べ85億円の大幅な増収となりました。

しかし、電子デバイス関連事業の売上高は、需要の低迷及び客先の在庫調整等により、39億円減少しました。

この結果、部品事業の売上高は、第2四半期に比べ45億円の増加となりました。

また、機器事業は、第2四半期に比べ36億円の増収となりました。情報機器関連事業の売上が、積極的な新製品の投入や円安効果を主因に伸びたことによるものです。

続きまして、セグメント別の事業利益についてご説明いたします。6ページをご覧ください。

<P.6：2013年3月期第3四半期 事業セグメント別事業利益

(第2四半期比) >

部品事業は第2四半期に比べ増益となりましたが、機器事業は減益となりました。売上高同様、増減金額の大きい事業セグメントについてご説明します。

半導体部品関連事業は、セラミックパッケージの増収効果により、第2四半期に比べ8億円増加し、10.2%の増益となりました。また、ファインセラミック応用品関連事業は、ソーラーエネルギー事業の採算向上により8億円増加し、21.4%の増益となりました。一方、電子デバイス関連事業は、減収により10億円の減益となりました。

機器事業では、通信機器関連事業及び情報機器関連事業ともに減益となりましたが、特に、情報機器関連事業の利益が、販売価格の下落等により、第2四半期に比べ8億円減少しました。

資料の7ページをご覧ください。

<P.7：四半期業績推移>

このグラフは、前期2012年3月期の第4四半期以降の売上高、税引前利益、並び

に税引前利益率の四半期推移です。なお、ピンクと赤色の点線は、A V Xの環境汚染浄化費用を除いたベースの数値です。

青色の売上高は、今期第1四半期以降、緩やかながらも着実に増加しております。ピンク色の税引前利益については、第1四半期は環境汚染浄化費用の計上により大きく落ち込みましたが、第2四半期、第3四半期と増加させることができました。また、赤色の点線で示しています、同費用を除いたベースでも、税引前利益率は、前期第4四半期の6.6%を底に改善し、当期第2四半期、第3四半期ともに2桁の利益率を維持することができています。

以上が当期第3四半期の決算概要です。続きまして、通期の業績予想についてご説明いたします。8ページをご覧ください。

<P.8：2013年3月期通期 業績予想>

下期は、デジタルコンシューマ機器市場や産業機械市場での部品需要や、国内での携帯電話端末の販売が前回予想を下回るものと予想しております。これらの市場見通しを踏まえ、昨年10月に公表しました通期業績予想を表に記載のとおり、修正しました。

通期の売上高につきましては、1兆2,800億円を見込んでおり、前期比では7.5%の増収を予想しています。

一方、利益については、環境汚染浄化に係る費用を計上したことが大きく影響し、営業利益は730億円、税引前当期純利益は915億円、当期純利益は570億円を予想しています。

また、為替レートについても、足元の円安基調を勘案し修正しています。第4四半期の為替レートの前提を、ドルは88円、ユーロは118円へ変更しました。この結果、表の下段にありますとおり、通期の業績予想レートは、ドルは82円、ユーロは106円となり、この為替変動による影響額は、前期に比べ、売上高に対して

約140億円の、税引前利益に対しては約20億円のプラスとなります。

この業績予想の修正に伴い、セグメント別の売上高・事業利益についても、資料の9ページ、10ページに記載のとおり、変更しております。

<P.9：2013年3月期 事業セグメント別売上高予想>

9ページの売上高については、情報機器関連事業を上方修正しております。また、ファインセラミック応用品関連事業については、前回予想から変更はありません。

さらに、前期比では、部品事業、機器事業、その他の事業において、いずれも増収となる見通しです。特に、ファインセラミック応用品関連事業においては、これまで受注が先行していたソーラーエネルギー事業の売上が、第4四半期に大きく伸びる見通しです。

<P.10：2013年3月期 事業セグメント別事業利益予想>

10ページの事業利益については、情報機器関連事業を上方修正しております。また、前期比では、ファインセラミック応用品関連事業と通信機器関連事業、その他の事業が増益となる見通しです。続きまして、11ページをご覧ください。

<P.11：四半期業績推移>

こちらのグラフは、直近2年間の、四半期の売上高、税引前利益の推移です。当期第4四半期は、第3四半期に比べ、ソーラーエネルギー事業や通信機器関連事業、情報機器関連事業、その他の事業で増収を見込んでおり、四半期ベースでは過去最高の売上高となる、3,535億円を目指してまいります。

当社は、本日公表しました通期連結業績予想の達成を目指し、前期比増収を図ってまいります。

以 上